

あかいろぼうしぐみ

2020. 8. 31

きゅうり、なす、おくらを収穫したよ！

じょうろやバケツ、ホースと一緒に水をあげながら生長を楽しみに育ててきました。

きゅうりやなすが大きくなっている様子を見ると、「おおきくなってる」「とっていい？」と言いながら大きさや形の変化にすぐに気付いて、収穫する日を心待ちにしていました。

ハサミで切って収穫する時には、我先にと「切りたい！切りたい！」「〇〇も取りたい！」「次は〇〇の番いい！」などと言って収穫してくれていました。なかなか切れなくても自分の力で切り取り、取れると「取れた！」と嬉しそうにする姿が印象的でした。中には早く取りたくて手でちぎり取っていた子もいましたよ。



他のクラスの職員にも「取れたよ」と嬉しそうに見せてまわっていました。
かぜぐみと一緒に育てていたなすも「なす取ったよ」「なす取るね」などと声をかけ合いながら一緒に収穫を行うことができました。



何本取れたかな？誰が取ったかな？

大きくなっているのを見るとみんなが収穫したくなる。しかし1度に12本も収穫できないので順番に収穫するしかありません。誰が収穫して誰が収穫していないか、何本取れたか、こどもたちにも気付いてもらいたいと思い、誰が取ったか・何本取れたかがわかるように表を作ってみました。部屋の窓に貼っておき、収穫する日の朝には、表を見てから収穫すると、「次は〇〇だよね」「ぼくもう取ったよ」などと話し、自分が収穫した時のことを思い出したり、まだ収穫していない子の名前を呼んでくれたりしました。数字に興味がある子は、表を見ながら「1, 2, 3, 4, 5本！」などと増える度に数えてくれていましたよ。

きゅうりやナスの色は七夕飾りの時にこどもたちと絵具と筆を使って塗りました。ナスの色って何色かな？と尋ねるとすぐに「紫」「青みたいなの」などと言っていました。中には、「紫は赤と青」と言いながら何色と何色を混ぜるとその色ができるかを教えてくれる子もいます。ペットボトルを使ったジュース屋さんの色水遊びや窓のボディペインティングの時も色の混ざりを楽しんでいるこどもたち。色々な実体験が積み重なって少しずつ知識として蓄えられているのかなと感じます。



自分たちの野菜はいつもと違う？！

収穫した後は、水道で洗って厨房へ持って行き調理してもらいます。歩いてと伝えても気持ちは前のめり！元気よくテラスを通過して厨房へ持って行きます。厨房のカウンター越しに厨房職員から「いっぱい取れたね」と言われて嬉しそうにしながら「はい」「おねがいします」と野菜を差し出して満足そうな表情をしていました。

みそ汁や野菜炒めに入れてもらったり、きゅうりスティックにして出してもらったりしました。「あかいろぼうしさんのきゅうりだよ」と伝えると「これ〇〇ちゃんたちが取ったのだよね」「ぼくが取った」「おいしい」等と言いながら食べておかわりをする子もいました。野菜の苦手な子も最初は「食べられない」と言っていたいても、食べてみようかと誘うと口にすることができ「食べられた」と言っていましたよ。一緒に育てて収穫した野菜だから、お友だちも食べているからこそ食べられた子も多かったのではないかと思います。



包丁で切ってみたよ☆

切って料理ができたらいいなと考えていたのですが、感染症の影響が続いているので、食べずに断面を見て、野菜スタンプをしてみることにしました。1人ずつ猫の手で包丁を使ってなすとおくらを切ってみました。前のめりになりながら緊張してグッと力を入れている子もいれば、「お家でも切ったことある」と教えてくれる子もいました。切った後は、絵具につけて画用紙にポンポンとスタンプしました。柔らかくなりすぎたオクラも多く、オクラが筆の代わりになっていて、丸を書く子、画用紙を全部塗る子もいましたよ。あと少しなすとおくらが収穫できそうなので、まだ包丁で切っていない子も登園した時に包丁と野菜スタンプに挑戦してみたいと思います。

